

(別添3)

【長崎県時津町】

校務DX計画

これまで行ってきた校務の方法を見直したり、効率化を図ったりすることで、学校における業務の縮減を図り、教職員の超過勤務時間を削減し、教材研究や研修を行う時間及び児童生徒と関わる時間を確保し、教育活動の質の向上に努める。

○校務支援システムのさらなる活用

・本町では令和4年度に「統合型校務支援システム(C4th)」を導入した。本システムには、週案の作成機能等、学校によってまだ未使用の機能があり、効率的に処理できる機能を十分に活用できていない教職員もいる。今後、本システムをより積極的に活用することにより、手書きによる週案の記録や電話連絡、電話取次等の業務を縮減し、負担軽減を図る。

・紙媒体で配付されていたチラシ等をデータ化して、校務支援システムの掲示板に掲載したり、保護者へのメールに添付したりして、ペーパーレスの推進と配付時間の削減を図る。

○評価システムや教材データの活用

・テスト問題の作成やテストの採点等を、評価システムの導入や教材データを積極的に活用することで効率化し、業務の時間短縮を図る。

○慣例、制度の見直し

・学校に提出を求める文書には、可能な限り押印を求めず、データでのやり取りを日常化する。各学校内でも押印が必ずしも必要でない場合は、廃止を推進していくよう、町全体で取り組む。

また、送付鑑の作成など、これまで慣例として行ってきた業務について、省略・簡略化できるものについては削減していく。

○一人一台端末の活用

・これまで配付・回収・点検・集計に多くの時間を要していたアンケートや調査等を、一人一台端末のGoogleフォーム等で実施することにより、業務を効率化する。